



PRESS RELEASE

www.aig.com

本稿は2026年8月6日、AIG米国本社が発表した英文プレスリリース（原文）の参考訳です。
本稿と原文との間で解釈に相違が生じた際には、原文が優先します。
原文の発信日付で、AIGジャパンのホームページに掲載しています。

AIG、2026年第2四半期の決算を発表

- ◆ 損害保険事業の正味収入保険料（NPW）は75億ドルで、報告ベースおよび固定ドルベース*の両方で前年同期比9%増加。これは3つの事業部門すべてにおける成長が主因。
- ◆ 損害保険事業の保険引受利益は6億8,600万ドルで、前年同期比10%増加。
- ◆ 損害保険事業のコンバインド・レシオは89.0%、保険事故年度調整済みコンバインド・レシオ*（AYCR）は88.1%で、両指標ともに前年同期比30ベースポイント改善。
- ◆ 希薄化後1株当たり純利益は1.78ドルで、前年同期比10%減少。希薄化後1株当たり調整後税引後利益*（AATI）は2.00ドルで、前年同期比10%増加。
- ◆ 株主資本利益率（ROE）は9.4%、コア・オペレーティングROE*は11.1%。
- ◆ 当四半期に6億4,100万ドルの自社株買いと2億6,300万ドルの配当を含む9億400万ドルの資本を株主に還元。
- ◆ 5月7日、AIGはコアブリッジ・ファイナンシャル（コアブリッジ）に対する残存持分のすべてを売却し、総額約7億1,000万ドルの売却収入を計上。

2026年8月6日（ニューヨーク発）：アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄:AIG）は本日、2026年6月30日に終了した第2四半期の決算を発表しました。

AIGの社長 兼 最高経営責任者（CEO）であるエリック・アンダーセンは次のように述べました。

「AIGは、今四半期も好調な業績を達成し、上半期を通じて優れた実績を収めました。これは、AIGの多様化されたグローバル・ポートフォリオの強み、オーガニックな成長、そして近年の戦略的な取引による継続的なモメンタムを裏付けるものです。

希薄化後1株当たり調整後税引後利益（AATI）は2.00ドルで、前年同期比10%増加し、コア・オペレーティングROEは11.1%となりました。正味収入保険料は固定ドルベースで前年同期比9%増加し、ノースアメリカ・プロパティを除くと11%*増加となりました。これは、3つの事業部門すべてにおけるトップラインの成長に支えられたものです。AIGは今四半期も引受収益性において堅調な結果を残し、損害保険事業の保険引受利益は6億8,600万ドル、暦年ベースのコンバインド・レシオは89.0%、保険事故年度調整済みコンバインド・レシオ（AYCR）は88.1%となりました。

当四半期の力強い業績は、広範なプラスの料率環境が長期間続いた環境から、より選別的な環境へと市場が移行し、収益性と成長が種目別の動向に益々依存するようになるなかでも、AIGが良好な業績を上げる能力を有していることを示しています。AIGの幅広い引受専門知識とグローバル・ポートフォリオの多様性は、依然として重要な競争優位性であり、最も魅力的なリスク調整後リターンが見込まれる部門に重点をおいた成長を引き続き追求することを可能にしています。

AIGは、市場のリーディングカンパニーかつ最高水準の引受会社としての強固な基盤のうえに、さらなる成長を築いています。この進捗は、AIGの優秀なグローバル・チームによる優れた実行力とコミットメントを反映するものです。AIGは、2025年のインベスター・デーで掲げた財務目標の達成に引き続き自信を持っており、AIGのグローバルな事業基盤、強力なブランド、高度な専門知識を活用し、AIGの総合力を結集してお客さまおよびステークホルダーを支援するとともに、持続可能で収益性を伴う成長を推進する大きな機会があると考えています。」

* 一般に公正妥当と認められた会計原則に従って計算されていない（非GAAP）財務指標を指します。非GAAP指標の定義および最も近いGAAP指標への調整については、本ニュースリリースの「レギュレーションGおよび非GAAP財務指標に関する注釈」の見出しの項をご覧ください。

業績概要

(単位:百万米ドル、1株当たりの額を除く)	6月30日までの3か月間				
	2025		2026		
AIG普通株主に帰属する純利益	\$	1,144	\$	948	
AIG普通株主に帰属する希薄化後1株当たりの純利益	\$	1.98	\$	1.78	
正味投資利益	\$	1,466	\$	1,127	
正味投資利益 (APTIベース)	\$	955	\$	908	
調整後税引前利益 (損失) :	\$	1,391	\$	1,404	
損害保険事業部門		1,492		1,546	
その他の事業		(101)		(142)	
AIG普通株主に帰属する調整後税引後利益	\$	1,044	\$	1,069	
AIG普通株主に帰属する希薄化後普通株式1株当たり調整後税引後利益*	\$	1.81	\$	2.00	
加重平均発行済み普通株式数 - 希薄化後 (単位:百万株)		577.9		533.5	
株主資本利益率		11.0	%	9.4	%
調整後株主資本利益率		9.7	%	10.2	%
コア・オペレーティングROE		11.7	%	11.1	%
普通株式1株当たりブック・バリュー	\$	74.14	\$	77.39	
調整後普通株式1株当たりブック・バリュー	\$	76.62	\$	79.98	
調整後1株当たり有形ブック・バリュー	\$	69.81	\$	72.18	
1株当たりコア・オペレーティングブック・バリュー	\$	63.71	\$	74.43	
発行済み普通株式数 (単位:百万株)		559.8		524.7	

2026年第2四半期のAIG普通株主に帰属する純利益は9億4,800万ドル（希薄化後普通株式1株当たり1.78ドル）となり、前年同期の純利益11億ドル（希薄化後普通株式1株当たり1.98ドル）から減少しました。前年同期比での減少は、主にAIGのコアブリッジ・ファイナンシャル（コアブリッジ）への投資および株式証券の公正価値の変動によるもので、保険引受利益の増加により一部相殺されました。

2026年第2四半期のAATIは11億ドル（希薄化後普通株式1株当たり2.00ドル）で、前年同期の10億ドル

(希薄化後普通株式1株当たり1.81ドル)と比較して増加しており、保険引受利益の増加を反映していますが、その他の事業における正味投資収益の減少により一部相殺されました。

2026年第2四半期の正味投資収益の合計は11億ドルで、前年同期の15億ドルから減少しました。これは主にAIGのコアブリッジへの投資および株式証券の公正価値の変動によるものです。

APTIベースの正味投資収益合計は9億800万ドルで、前年同期の9億5,500万ドルから減少しました。これは、その他の事業における正味投資収益の減少によるものですが、損害保険事業に帰属する正味投資収益は前年同期比で横ばいでした。

2026年第2四半期、AIGは約800万株に相当する6億4,100万ドルの普通株式買い戻しと2億6,300万ドルの普通株式配当金を通じて、9億400万ドルを株主に還元しました。2026年6月30日現在の総負債総資本比率は18.1%、総負債調整後総資本*比率は17.6%でした。当四半期中、AIGはコアブリッジ普通株式の残余持分に相当する約2,500万株を売却し、総額約7億1,000万ドルの売却収入を得ました。

2026年第2四半期のROEおよびコア・オペレーティングROEは、それぞれ9.4%および11.1%でした。2026年6月30日時点の1株当たりブック・バリューは77.39ドルで、2025年6月30日から4%増加しました。調整後1株当たり有形ブック・バリューは72.18ドルで、2025年6月30日から3%増加しました。

2026年8月6日、AIGの取締役会はAIG普通株式の1株当たり0.50ドルの四半期配当金を発表しました。配当金は、2026年9月16日の業務終了時において登録されている株主に対して2026年9月30日に支払われます。

損害保険事業部門

(単位:百万米ドル)	6月30日までの3か月間			
	2025	2026	増減	
総収入保険料	\$ 10,056	\$ 10,943	9	%
正味収入保険料	\$ 6,880	\$ 7,516	9	%
固定ドルベースの正味収入保険料			9	%
保険引受利益 (損失)	\$ 626	\$ 686	10	%
正味投資収益	\$ 871	\$ 871	-	%
調整後税引前利益 ^(a)	\$ 1,492	\$ 1,546	4	%
引受に関する比率:				
損害保険事業部門 (GI) コンバインド・レシオ	89.3	89.0	(0.3)	pts
GI 損害率	58.3	58.2	(0.1)	
控除: 損害率に対する影響				
大規模自然災害による損失および復活保険料	(2.9)	(3.4)	(0.5)	
再保険および前年保険料控除後の前年度発生損失の修正額	2.0	2.5	0.5	
GI 保険事故年度の調整済み損害率	57.4	57.3	(0.1)	
GI 事業費率	31.0	30.8	(0.2)	
GI保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	88.4	88.1	(0.3)	pts

- 第2四半期のNPWは75億ドルで、報告ベースおよび固定ドルベースの両方で前年同期比9%増加しました。この成長は主に、業績の良好な一部の部門における継続的なオーガニックな成長と、AIGの最近の戦略的な取引の寄与によるものですが、ノースアメリカ・プロパティによって一部相殺されました。ノースアメリカ・プロパティを除くと、損害保険事業のNPW成長率は第2四半期に11%*となりました。
- 保険引受利益は6億8,600万ドルで、前年同期比10%増加しました。
- 大規模自然災害関連費用総額は2億1,000万ドルで、損失率は3.4ポイントでした。前年同期は1億7,000万ドルで、損失率2.9ポイントでした。2026年第2四半期には、中東における紛争に関連する正味損失7,500万ドルが含まれています。
- 2026年第2四半期には、再保険料および前年の保険料控除後の有利な変動（PYD）が1億4,500万ドル含まれており、前年同期の1億1,200万ドルと比較して増加しました。これは主に、米国労働者災害補償およびU.S.プロパティ・アンド・スペシャル・リスクの有利な変動によるもので、U.S.エクセス・カジュアリティの若干の準備金積み増しにより部分的に相殺されました
- コンバインド・レシオは89.0%で、前年同期の89.3%から30ベースポイント改善しました。これは主に、有利なPYDの増加と事業費率の改善によるものですが、大規模自然災害関連費用の増加により一部相殺されました。AYCRは88.1%で、前年同期の88.4%から30ベースポイント改善しました。これは、調整後保険事故年度損害率*（AYLR）の低下および事業費率の低下によるものです。
- 損害保険事業部門のAPTIIは15億ドルで、前年同期比4%増加しました。これは、保険引受利益の増加によるものです。

(a) 2026年第1四半期に、AIGは無形資産の償却費の報告区分を見直し、その他の事業から損害保険事業部門に変更しました。過年度の実績は、この変更を反映して修正されています。

損害保険事業部門—ノースアメリカ・コマーシャル・インシュアランス

(単位:百万米ドル)	6月30日までの3か月間					
	2025		2026		つけ	
正味収入保険料	\$	2,863	\$	3,125	9	%
固定ドルベースの正味収入保険料					9	%
保険引受利益（損失）	\$	301	\$	372	24	%
引受に関する比率：						
コンバインド・レシオ		85.9		84.0	(1.9)	pts
調整後AYCR		86.2		86.7	0.5	pts

- 第2四半期のNPWは31億ドルで、前年同期比9%増加しました。これは主に、リテイル・カジュアリティおよびファイナンシャル・ラインの牽引によるものですが、プロパティの減少を主因とするレキシントンにおける減少により一部相殺されました。

- コンバインド・レシオは84.0%で、前年同期の85.9%から190ベースポイント改善しました。これは主に、有利なPYDの増加、大規模自然災害関連費用の減少、および一般管理費（GOE）比率の低下によるものですが、事業構成の変化による契約獲得比率およびAYLRの上昇、加えて特にプロパティにおける料率の下押し圧力により一部相殺されました。AYCRは86.7%で、前年同期の86.2%から50ベースポイント上昇しました。これは主に、契約獲得比率およびAYLRの上昇によるもので、GOE比率の低下により一部相殺されました。

損害保険事業部門—インターナショナル・コマーシャル・インシュアランス

(単位:百万米ドル)	6月30日までの3か月間		
	2025	2026	増減
正味収入保険料	\$ 2,325	\$ 2,588	11 %
固定ドルベースの正味収入保険料			10 %
保険引受利益（損失）	\$ 300	\$ 200	(33) %
引受に関する比率：			
コンバインド・レシオ	85.9	91.3	5.4 pts
調整後AYCR	85.0	87.3	2.3 pts

- 第2四半期のNPWは26億ドルで、前年同期比11%増加、固定ドルベースでは10%増加しました。これは主にプロパティおよび海上保険によるものですが、継続的な料率の下押し圧力によるファイナンシャル・ラインの減少により一部相殺されました。
- コンバインド・レシオは91.3%で、前年同期の85.9%から540ベースポイント上昇しました。これは主に、中東における紛争に関連する損失を主因とする大規模自然災害関連費用の増加、料率の下押し圧力を反映したAYLRの上昇、および好調な新規契約の成長と事業構成の変化を反映した契約獲得比率の上昇によるものです。AYCRは87.3%で、前年同期の85.0%から230ベースポイント上昇しました。これは、AYLRおよび契約獲得比率の上昇によるものです。

損害保険事業部門—グローバル・パーソナル・インシュアランス

(単位:百万米ドル)	6月30日までの3か月間		
	2025	2026	増減
正味収入保険料	\$ 1,692	\$ 1,803	7 %
固定ドルベースの正味収入保険料			8 %
保険引受利益（損失）	\$ 25	\$ 114	356 %
引受に関する比率：			
コンバインド・レシオ	98.5	92.9	(5.6) pts
調整後AYCR	96.1	91.2	(4.9) pts

- 第2四半期のNPWは18億ドルで、前年同期比7%増加、固定ドルベースでは8%増加しました。これは主に、傷害医療保険における力強い成長モメンタムと、富裕層向け事業における継続的なオーガニックな成長によるものです。

- コンバインド・レシオは92.9%で、前年同期の98.5%から560ベースポイント改善しました。これは主に、富裕層向け事業における手数料条件改善の収益化を反映したAYLRおよび契約獲得率の低下、GOE比率の低下、および大規模自然災害関連費用の減少によるものです。AYCRは91.2%で、前年同期の96.1%から490ベースポイント改善しました。

その他の事業

(単位:百万米ドル)	6月30日までの3か月間		
	2025	2026	増減
正味投資収益およびその他の収入	\$ 92	\$ 39	(58) %
法人およびその他の事業費	(90)	(82)	9
支払利息	(101)	(99)	2
統廃合前の調整後税引前損失	\$ (99)	\$ (142)	(43)
統廃合総額	(2)	-	NM
調整後税引前損失 ^(a)	\$ (101)	\$ (142)	(41) %

(a) 2025年第3四半期に、AIGは従来損害保険事業で報告していたランオフ事業の正味業績を、調整後税引前利益から除外する形に変更しました。

- その他の業務は主に、AIG親会社の流動性ポートフォリオからの正味投資収益、コアブリッジの配当収益、法人事業費 (GOE)、および支払利息で構成されます。
- 正味投資収益およびその他の収入は3,900万ドルで、前年同期の9,200万ドル（コアブリッジからの配当2,700万ドルを含む）から減少しました。加えて、当四半期は短期投資収益も減少しました。
- 法人およびその他のGOEは、前年同期比で800万ドル改善しました。
- 支払利息は、前年同期比で200万ドル増加しました。



AIG Delivers Strong Second Quarter Results and Exceptional First Half of the Year

August 6, 2026 at 4:16 PM EDT

- **General Insurance net premiums written (NPW) of \$7.5 billion, an increase of 9% year-over-year on both a reported basis and a constant dollar basis*, driven by growth across all three business segments**
- **General Insurance underwriting income of \$686 million, an increase of 10% year-over-year**
- **General Insurance combined ratio of 89.0% and Accident year combined ratio, as adjusted* (AYCR) of 88.1%, a 30 basis point improvement year-over-year in both metrics**
- **Net income per diluted share of \$1.78, a decrease of 10% year-over-year; Adjusted after-tax income* (AATI) per diluted share of \$2.00, an increase of 10% year-over-year**
- **Return on equity (ROE) of 9.4% and Core Operating ROE* of 11.1%**
- **Returned \$904 million of capital to shareholders, including \$641 million of share repurchases and \$263 million of dividends in the quarter**
- **On May 7, AIG sold its remaining interest in Corebridge Financial, Inc. (Corebridge) for aggregate proceeds of approximately \$710 million**

NEW YORK--(BUSINESS WIRE)--Aug. 6, 2026-- American International Group, Inc. (NYSE: AIG) today reported financial results for the second quarter ended June 30, 2026.

"AIG delivered another strong quarter, marking an exceptional first half of the year and underscoring the benefits of our diversified global portfolio and continued momentum from organic growth and our recent strategic transactions," said Eric Andersen, AIG President & Chief Executive Officer.

"Adjusted after-tax income per diluted share was \$2.00, increasing 10% year-over-year, and Core Operating ROE was 11.1%. Net premiums written grew 9% year-over-year on a constant dollar basis, or 11%* excluding North America Property, supported by top-line growth across all three business segments. We produced another solid quarter of underwriting profitability, with General Insurance underwriting income of \$686 million, a calendar year combined ratio of 89.0% and an accident year combined ratio, as adjusted, of 88.1%.

"Our strong quarterly results demonstrate our ability to perform well in the current market, which has transitioned from an extended phase of broad positive pricing into a more selective environment, where profitability and growth are increasingly dependent on line-specific dynamics. The breadth of our underwriting expertise and the diversity of our global portfolio remain important competitive advantages, allowing us to continue to pursue targeted growth in the segments where we expect to achieve the most attractive risk-adjusted returns.

"We are building on our strong foundation as a market leader and best-in-class underwriting company. Our progress reflects the outstanding execution and commitment of our talented global team. We remain confident in our ability to meet our 2025 Investor Day financial objectives and see significant opportunity to leverage our global scale, strong brand and technical expertise to bring the full capabilities of AIG together to support our clients and stakeholders, while driving sustainable, profitable growth."

* Refers to financial measure not calculated in accordance with generally accepted accounting principles (non-GAAP); definitions of non-GAAP measures and reconciliations to their closest GAAP measures can be found in this press release under the heading Comment on Regulation G and Non-GAAP Financial Measures.

FINANCIAL SUMMARY

	Three Months Ended June 30,	
(\$ and shares in millions, except per share amounts)	2025	2026
Net income attributable to AIG common shareholders	\$ 1,144	\$ 948
Net income per diluted share attributable to AIG common shareholders	\$ 1.98	\$ 1.78
Net investment income	\$ 1,466	\$ 1,127
Net investment income, APTI basis	955	908

Adjusted pre-tax income (loss)	\$ 1,391	\$ 1,404
General Insurance	1,492	1,546
Other Operations	(101)	(142)

Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders	\$ 1,044	\$ 1,069
---	----------	----------

Adjusted after-tax income per diluted share attributable to AIG common shareholders	\$ 1.81	\$ 2.00
---	---------	---------

Weighted average common shares outstanding - diluted	577.9	533.5
--	-------	-------

Return on equity	11.0	%	9.4	%
------------------	------	---	-----	---

Adjusted return on equity	9.7	%	10.2	%
---------------------------	-----	---	------	---

Core operating return on equity	11.7	%	11.1	%
---------------------------------	------	---	------	---

Book value per share	\$ 74.14	\$ 77.39
----------------------	----------	----------

Adjusted book value per share	\$ 76.62	\$ 79.98
-------------------------------	----------	----------

Adjusted tangible book value per share	\$ 69.81	\$ 72.18
--	----------	----------

Core operating book value per share	\$ 63.71	\$ 74.43
-------------------------------------	----------	----------

Common shares outstanding (in millions)	559.8	524.7
---	-------	-------

For the second quarter of 2026, Net income attributable to AIG common shareholders was \$948 million, or \$1.78 per diluted common share, compared to net income of \$1.1 billion, or \$1.98 per diluted common share, in the prior year quarter. The year-over-year decrease was primarily due to changes in the fair value of AIG's investment in Corebridge and equity securities, partially offset by higher underwriting income.

AATI was \$1.1 billion, or \$2.00 per diluted common share, compared to \$1.0 billion, or \$1.81 per diluted common share in the prior year quarter, reflecting higher underwriting income, partially offset by lower Other Operations Net investment income.

Total Net investment income for the second quarter of 2026 was \$1.1 billion, compared to \$1.5 billion in the prior year quarter, primarily due to changes in the fair value of AIG's investment in Corebridge and equity securities.

Total Net investment income on an APTI basis was \$908 million, compared to \$955 million in the prior year quarter, due to lower Net investment income in Other Operations, while General Insurance Net investment income was flat year-over-year.

AIG returned \$904 million to shareholders in the second quarter of 2026 through \$641 million of common stock repurchases, representing approximately 8 million shares, and \$263 million of common stock dividends. At June 30, 2026, the total debt to total capital ratio was 18.1% and the total debt to total adjusted capital* ratio was 17.6%. During the quarter, AIG sold approximately 25 million shares of Corebridge common stock, representing our remaining interest in Corebridge, for aggregate proceeds of approximately \$710 million.

ROE and Core Operating ROE* were 9.4% and 11.1%, respectively, in the second quarter of 2026. Book value per share was \$77.39 as of June 30,

2026, an increase of 4% from June 30, 2025. Adjusted tangible book value per share* was \$72.18, an increase of 3% from June 30, 2025.

On August 6, 2026, the AIG Board of Directors declared a quarterly cash dividend on AIG common stock of \$0.50 per share. The dividend is payable on September 30, 2026 to shareholders of record at the close of business on September 16, 2026.

GENERAL INSURANCE

	Three Months Ended June 30,			
(\$ in millions)	2025	2026	Change	
Gross premiums written	\$ 10,056	\$ 10,943	9	%
Net premiums written	\$ 6,880	\$ 7,516	9	%
Net premiums written, on constant dollar basis			9	%
Underwriting income (loss)	\$ 626	\$ 686	10	%
Net investment income	\$ 871	\$ 871	—	%
Adjusted pre-tax income ^(a)	\$ 1,492	\$ 1,546	4	%

Underwriting ratios:

General Insurance (GI) CR	89.3	89.0	(0.3)	pts
GI Loss ratio	58.3	58.2	(0.1)	
<i>Less: impact on loss ratio</i>				
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(2.9)	(3.4)	(0.5)	
Prior year development, net of prior year premiums	2.0	2.5	0.5	
GI Accident year loss ratio, as adjusted	57.4	57.3	(0.1)	
GI Expense ratio	31.0	30.8	(0.2)	
GI Accident year combined ratio, as adjusted	88.4	88.1	(0.3)	pts

- Second quarter NPW of \$7.5 billion increased 9% from the prior year quarter both on a reported basis and a constant dollar basis. The growth was primarily driven by continued organic growth in select high-performing segments and contributions from AIG's recent strategic transactions, partially offset by North America Property lines. Excluding North America Property lines, General Insurance NPW growth was 11%* in the second quarter.
- Underwriting income was \$686 million, increasing 10% from the prior year quarter.
- Total catastrophe-related charges were \$210 million, representing 3.4 loss ratio points, compared to \$170 million, representing 2.9 loss ratio points, in the prior year quarter. Second quarter 2026 included \$75 million of net losses related to the Middle East conflict.

- Second quarter 2026 included favorable prior year development (PYD), net of reinsurance and prior year premiums, of \$145 million, compared to \$112 million in the prior year quarter, primarily due to favorable development in U.S. Workers' Compensation and U.S. Property and Special Risks, partially offset by slight strengthening in U.S. Excess Casualty.
- The combined ratio was 89.0%, improving 30 basis points from 89.3% in the prior year quarter, largely due to higher favorable PYD and an improved expense ratio, partially offset by higher catastrophe-related charges. The AYCR was 88.1%, improving 30 basis points from 88.4% in the prior year quarter, driven by a lower accident year loss ratio, as adjusted* (AYLR) as well as a lower expense ratio.
- General Insurance APTI was \$1.5 billion, increasing 4% from the prior year quarter, driven by higher underwriting income.

(a) *In the first quarter of 2026, AIG realigned and began reporting Amortization of intangible assets in General Insurance from Other Operations; historical results have been recast to reflect these changes.*

GENERAL INSURANCE - NORTH AMERICA COMMERCIAL

	Three Months Ended June 30,			
(\$ in millions)	2025	2026	Change	
Net premiums written	\$ 2,863	\$ 3,125	9	%
Net premiums written, on constant dollar basis			9	%
Underwriting income (loss)	\$ 301	\$ 372	24	%

Underwriting ratios:

CR	85.9	84.0	(1.9)	pts
AYCR, as adjusted	86.2	86.7	0.5	pts

- Second quarter NPW of \$3.1 billion increased 9% from the prior year quarter, primarily driven by Retail Casualty and Financial Lines, partially offset by declines in Lexington, driven by Property.
- The combined ratio was 84.0%, improving 190 basis points from 85.9% in the prior year quarter, driven by higher favorable PYD, lower catastrophe-related charges and lower general operating expense (GOE) ratio, partially offset by higher acquisition ratio and AYLR due to changes in business mix, in addition to rate pressure, particularly in Property. The AYCR was 86.7%, increasing 50 basis points from 86.2% in the prior year quarter, primarily driven by higher acquisition ratio and AYLR, partially offset by lower GOE ratio.

GENERAL INSURANCE - INTERNATIONAL COMMERCIAL

	Three Months Ended June 30,			
(\$ in millions)	2025	2026	Change	
Net premiums written	\$ 2,325	\$ 2,588	11	%
Net premiums written, on constant dollar basis			10	%
Underwriting income (loss)	\$ 300	\$ 200	(33)	%

Underwriting ratios:

CR	85.9	91.3	5.4	pts
AYCR, as adjusted	85.0	87.3	2.3	pts

- Second quarter NPW of \$2.6 billion increased 11% from the prior year quarter, or 10% on a constant dollar basis, primarily driven by Property and Marine, partially offset by Financial Lines due to continued rate pressure.
- The combined ratio was 91.3%, increasing 540 basis points from 85.9% in the prior year quarter, driven by higher catastrophe-related charges, primarily due to losses related to the Middle East conflict, higher AYLR, reflecting rate pressure, and higher acquisition ratio, reflecting a combination of strong new business growth and changes in business mix. The AYCR was 87.3%, increasing 230 basis points from 85.0% in the prior year quarter, driven by higher AYLR and acquisition ratio.

GENERAL INSURANCE - GLOBAL PERSONAL**Three Months Ended June 30,**

(\$ in millions)	2025	2026	Change	
Net premiums written	\$ 1,692	\$ 1,803	7	%
Net premiums written, on constant dollar basis			8	%
Underwriting income (loss)	\$ 25	\$ 114	356	%

Underwriting ratios:

CR	98.5	92.9	(5.6)	pts
AYCR, as adjusted	96.1	91.2	(4.9)	pts

- Second quarter NPW of \$1.8 billion increased 7% from the prior year quarter, or 8% on a constant dollar basis, primarily driven by strong growth momentum in Accident & Health and continued organic growth in the High Net Worth business.
- The combined ratio was 92.9%, improving 560 basis points from 98.5% in the prior year quarter, primarily due to lower AYLR and acquisition ratio reflecting earn-in of improved High Net Worth business commission terms, lower GOE ratio and reduced catastrophe-related charges. The AYCR was 91.2%, improving 490 basis points from 96.1% in the prior year quarter.

OTHER OPERATIONS**Three Months Ended June 30,**

(\$ in millions)	2025	2026	Change	
Net investment income and other	\$ 92	\$ 39	(58)	%
Corporate and other general operating expenses	(90)	(82)	9	
Interest expense	(101)	(99)	2	

Adjusted pre-tax loss before consolidation and eliminations	\$ (99)	\$ (142)	(43)	
Total consolidation and eliminations	(2)	—	NM	
Adjusted pre-tax loss ^(a)	\$ (101)	\$ (142)	(41)	%

(a) In the third quarter of 2025, AIG began excluding the net results of run-off businesses previously reported in General Insurance from Adjusted pre-tax income.

- Other Operations predominantly consists of Net investment income from our AIG Parent liquidity portfolio, Corebridge dividend income, corporate GOE, and Interest expense.
- Net Investment Income and Other was \$39 million, compared to \$92 million in the prior year quarter, which included \$27 million of Corebridge dividends. In addition, the current quarter has lower Short-term Investment income.
- Corporate and other GOE improved \$8 million from the prior year quarter.
- Interest expense increased \$2 million from the prior year quarter.

CONFERENCE CALL

AIG will host a conference call tomorrow, Friday, August 7, 2026 at 8:30 a.m. ET to review these results. The call is open to the public and can be accessed via a live, listen-only webcast in the Investors section of www.aig.com. A replay will be available after the call at the same location.

#

Additional supplementary financial data is available in the Investors section at www.aig.com.

Cautionary Note on Forward-Looking Statements

Certain statements in this press release and other publicly available documents may include, and members of management may from time to time make and discuss, statements which, to the extent they are not statements of historical or present fact, may constitute “forward-looking statements” within the meaning of the U.S. Private Securities Litigation Reform Act of 1995. These forward-looking statements are intended to provide management’s current expectations or plans for future operating and financial performance, based on assumptions currently believed to be valid and accurate. Forward-looking statements are often preceded by, followed by or include words such as “will,” “believe,” “anticipate,” “expect,” “expectations,” “intend,” “strive,” “plan,” “strategy,” “prospects,” “project,” “anticipate,” “should,” “guidance,” “outlook,” “view,” “target,” “goal,” “estimate” and other words of similar meaning in connection with a discussion of future operating or financial performance. These statements may include, among other things, projections, goals and assumptions that relate to future actions, prospective services or products, future performance or results of current and anticipated services or products, sales efforts, expense reduction efforts, the outcome of contingencies such as legal proceedings, anticipated organizational, business or regulatory changes, the effect of catastrophic events, both natural and man-made, and macroeconomic and/or geopolitical events, anticipated dispositions, monetization and/or acquisitions of businesses or assets, the successful integration of acquired businesses, management succession and retention plans, exposure to risk, trends in operations and financial results, and other statements that are not historical facts.

All forward-looking statements involve risks, uncertainties and other factors that may cause actual results and financial condition to differ, possibly materially, from the results and financial condition expressed or implied in the forward-looking statements. Factors that could cause actual results to differ, possibly materially, from those in specific projections, targets, goals, plans, assumptions and other forward-looking statements include, without limitation:

- the impact of adverse developments affecting economic conditions in the markets in which we operate, including financial market conditions, a U.S. federal government shutdown, macroeconomic trends, changes in trade policies, including tariffs, fluctuations in interest rates and foreign currency exchange rates, inflationary pressures, including social inflation, pressures on the commercial real estate market, pandemics, and geopolitical events or conflicts;
- the occurrence of catastrophic events, both natural and man-made, which may be exacerbated by the effects of climate change;
- disruptions in the availability or accessibility of our or a third party’s information technology systems, including hardware and software, infrastructure or networks, and the inability to safeguard the confidentiality and integrity of customer, employee or company data due to cyberattacks, data security breaches or infrastructure vulnerabilities;
- our ability to effectively implement technological advancements, including the use of artificial intelligence (AI), and respond to competitors’ AI and other technology initiatives;
- our ability to successfully complete strategic transactions, including to successfully dispose of, monetize and/or acquire businesses or assets or successfully integrate acquired businesses, and the anticipated benefits thereof;
- the effects of changes in laws and regulations, including those relating to privacy, data protection, cybersecurity and AI, and the regulation of insurance, in the U.S. and other countries in which we operate;
- concentrations in our investment portfolios;

- changes in the valuation of our investments;
- our reliance on third-party investment managers;
- nonperformance or defaults by counterparties;
- our reliance on third parties to provide certain business and administrative services;
- our ability to adequately assess risk and estimate related losses as well as the effectiveness of our enterprise risk management policies and procedures;
- changes in judgments or assumptions concerning insurance underwriting and insurance liabilities;
- concentrations of our insurance, reinsurance and other risk exposures;
- availability of adequate reinsurance or access to reinsurance on acceptable terms;
- changes to tax laws in the countries in which we operate;
- the effectiveness of strategies to retain and recruit key personnel and to implement effective succession plans;
- the effects of sanctions and the failure to comply with those sanctions;
- difficulty in marketing and distributing products through current and future distribution channels;
- actions by rating agencies with respect to our credit and financial strength ratings as well as those of its businesses and subsidiaries;
- changes in judgments concerning the recognition of deferred tax assets and the impairment of goodwill;
- our ability to address evolving global stakeholder expectations and regulatory requirements including with respect to environmental, social and governance matters and to effectively execute on sustainability targets and standards;
- our ability to effectively implement restructuring initiatives and potential cost-savings opportunities;
- changes to sources of or access to liquidity;
- changes in accounting principles and financial reporting requirements or their applicability to us;
- the outcome of significant legal, regulatory or governmental proceedings; and
- such other factors discussed in:
 - Part I, Item 2. Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations (MD&A) in our Quarterly Report on Form 10-Q for the quarter ended June 30, 2026 (which will be filed with the Securities and Exchange Commission (SEC);
 - Part I, Item 1A. Risk Factors and Part II, Item 7. MD&A in our Annual Report on Form 10-K for the year ended December 31, 2025; and
 - our other filings with the SEC.

Forward-looking statements speak only as of the date of this press release, or in the case of any document incorporated by reference, the date of that document. AIG is not under any obligation to publicly update or revise any forward-looking statements, whether as a result of new information, future events or otherwise, except as required by applicable law. Additional information as to factors that may cause actual results to differ materially from those expressed or implied in any forward-looking statements is disclosed from time to time in our filings with the SEC.

###

COMMENT ON REGULATION G AND NON-GAAP FINANCIAL MEASURES

Throughout this press release, including the financial highlights, AIG presents its financial condition and results of operations in the way it believes will be most meaningful and representative of its business results. Some of the measurements AIG uses are "Non-GAAP financial measures" under SEC rules and regulations. GAAP is the acronym for generally accepted accounting principles in the United States. The non-GAAP financial measures AIG presents are listed below and may not be comparable to similarly-named measures reported by other companies. The reconciliations of such measures to the most comparable GAAP measures in accordance with Regulation G are included within the relevant tables attached to this press release or in the Second Quarter 2026 Financial Supplement available in the Investors section of AIG's website, www.aig.com.

Unless otherwise mentioned or unless the context indicates otherwise, we use the terms "AIG," "we," "us" and "our" to refer to American International Group, Inc., a Delaware corporation, and its consolidated subsidiaries.

AIG uses the following operating performance measures because AIG believes they enhance the understanding of the underlying profitability of operations and trends of AIG's segments. AIG believes they also allow for more meaningful comparisons with AIG's insurance competitors. When AIG uses these measures, reconciliations to the most comparable GAAP measure are provided on a consolidated basis.

Adjusted Pre-tax Income (APTI) is derived by excluding the items set forth below from income before income tax:

- changes in the fair values of equity securities, AIG's investment in Corebridge and gain/loss on sale of shares;
- net investment income on Fortitude Re funds withheld assets held by AIG in support of Fortitude Re's reinsurance obligations to AIG (Fortitude Re funds withheld assets);
- net realized gains and losses on Fortitude Re funds withheld assets;
- loss (gain) on extinguishment of debt;
- all net realized gains and losses except earned income (periodic settlements and changes in settlement accruals) on derivative instruments used for non-qualifying (economic) hedging or for asset replication. Earned income on such economic hedges is reclassified from net realized gains and losses to specific APTI line items based on the economic risk being hedged (e.g. net investment income);
- income or loss from discontinued operations;

- net loss reserve discount benefit (charge);
- net results of businesses in run-off;
- non-operating pension expenses;
- net gain or loss on divestitures and other;
- non-operating litigation reserves and settlements;
- restructuring and other costs related to initiatives designed to reduce operating expenses, improve efficiency and simplify our organization;
- the portion of favorable or unfavorable prior year reserve development for which we have ceded the risk under retroactive reinsurance agreements and related changes in amortization of the deferred gain;
- integration and transaction costs associated with acquiring or divesting businesses;
- losses from the impairment of goodwill; and
- non-recurring costs associated with the implementation of non-ordinary course legal or regulatory changes or changes to accounting principles.

Adjusted After-tax Income attributable to AIG common shareholders (adjusted after-tax income or AATI) is derived by excluding the tax effected APTI adjustments described above, noncontrolling interest on net realized gains (losses), other non-operating expenses and the following tax items from net income attributable to AIG:

- deferred income tax valuation allowance releases and charges; and
- changes in uncertain tax positions and other tax items related to legacy matters having no relevance to our current businesses or operating performance.

See page 14 for the reconciliation of Net income attributable to AIG to Adjusted After-tax Income attributable to AIG common shareholders.

Book value per share, excluding investments related cumulative unrealized gains and losses recorded in Accumulated other comprehensive income (loss) (AOCI) adjusted for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets (collectively, Investments AOCI) (Adjusted book value per share) is used to show the amount of our net worth on a per share basis after eliminating the fair value of investments that can fluctuate significantly from period to period due to changes in market conditions. In addition, we adjust for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets since these fair value movements are economically transferred to Fortitude Re. Adjusted book value per share is derived by dividing total AIG common shareholders' equity, excluding Investments AOCI (**AIG adjusted common shareholders' equity**) by total common shares outstanding.

Book Value per share, excluding Investments AOCI, Goodwill, Value of business acquired (VOBA), Value of distribution channel acquired (VODA) and Other intangible assets (Adjusted tangible book value per share) is used to provide a useful measure of the realizable shareholder value on a per share basis after eliminating the fair value of investments that can fluctuate significantly from period to period due to changes in market conditions and Fortitude Re funds withheld assets since these fair value movements are economically transferred to Fortitude Re. Adjusted tangible book value per share is derived by dividing AIG adjusted common equity, excluding intangible assets, (**AIG adjusted tangible common shareholders' equity**) by total common shares outstanding.

Book value per share, excluding Investments AOCI, deferred tax assets (DTA) and AIG's ownership interest in Corebridge (Core operating book value per share) is used to show the amount of our net worth on a per share basis after eliminating Investments AOCI, DTA and AIG's ownership interest in Corebridge. We believe this measure is useful to investors because it eliminates the fair value of investments that can fluctuate significantly from period to period due to changes in market conditions. We also exclude the portion of DTA representing U.S. tax attributes related to net operating loss carryforwards (NOLs), corporate alternative minimum tax credits (CAMTCs) and foreign tax credits (FTCs) that have not yet been utilized. Amounts for interim periods are estimates based on projections of full-year attribute utilization. As NOLs, CAMTCs and FTCs are utilized, the corresponding portion of the DTA utilized is included. We exclude AIG's ownership interest in Corebridge since it is not a core long-term investment for AIG. Core operating book value per share is derived by dividing total AIG common shareholders' equity, excluding Investments AOCI, DTA and AIG's ownership interest in Corebridge (**AIG core operating shareholders' equity**) by total common shares outstanding.

Total debt to total adjusted capital ratio is used to show the AIG's debt leverage adjusted for Investments AOCI and is derived by dividing **total debt by total capital excluding Investments AOCI (Total adjusted capital)**. We believe this measure is useful to investors because it eliminates items that can fluctuate significantly from period to period due to changes in market conditions. In addition, we adjust for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets since these fair value movements are economically transferred to Fortitude Re.

Return on equity – Adjusted after-tax income excluding Investments AOCI (Adjusted return on equity) is used to show the rate of return on common shareholders' equity excluding Investments AOCI. We believe this measure is useful to investors because it eliminates the fair value of investments which can fluctuate significantly from period to period due to changes in market conditions. Adjusted return on equity is derived by dividing actual or, for interim periods, annualized adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders by average AIG adjusted common shareholders' equity.

Return on equity – Adjusted after-tax income excluding Investments AOCI, DTA and AIG's ownership interest in Corebridge (Core operating return on equity) is used to show the rate of return on common shareholders' equity excluding Investments AOCI, DTA and AIG's ownership interest in Corebridge. We believe this measure is useful to investors because it eliminates the fair value of investments that can fluctuate significantly from period to period due to changes in market conditions. We also exclude the portion of DTA representing U.S. tax attributes related to NOLs, CAMTCs and FTCs that have not yet been utilized. Amounts for interim periods are estimates based on projections of full-year attribute utilization. As NOLs, CAMTCs and FTCs are utilized, the corresponding portion of the DTA utilized is included. We exclude AIG's ownership interest in Corebridge since it is not a core long-term investment for AIG. We believe this metric provides investors with greater insight as to the underlying profitability of our property and casualty business. Core operating return on equity is derived by dividing actual or, for interim periods, annualized adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders by average AIG core operating shareholders' equity.

Ratios: We, along with most property and casualty insurance companies, use the loss ratio, the expense ratio and the combined ratio as measures of underwriting performance. These ratios are relative measurements that describe, for every \$100 of net premiums earned, the amount of losses and loss adjustment expenses (which for General Insurance excludes net loss reserve discount), and the amount of other underwriting expenses that would be incurred. A combined ratio of less than 100 indicates underwriting income and a combined ratio of over 100 indicates an underwriting loss. Our ratios are calculated using the relevant segment information calculated under GAAP, and thus may not be comparable to similar ratios calculated for regulatory reporting purposes. The underwriting environment varies across countries and products, as does the degree of litigation activity, all of which affect such ratios. In addition, investment returns, local taxes, cost of capital, regulation, product type and competition can have an effect on pricing and consequently on profitability as reflected in underwriting income and associated ratios.

Accident year loss and Accident year combined ratios, as adjusted (Accident year loss ratio, ex-CAT and Accident year combined ratio, ex-CAT): both the accident year loss and accident year combined ratios, as adjusted, exclude catastrophe losses (CATs) and related reinstatement premiums, net of reinsurance, and prior year development, net of prior year premiums, net of reinsurance, and the impact of reserve discounting. Natural catastrophe losses are generally weather or seismic events, in each case, having a net impact on AIG in excess of \$10 million and man-made catastrophe losses, such as terrorism and civil unrest that exceed the \$10 million threshold. We believe that as adjusted ratios are meaningful measures of our underwriting results on an ongoing basis as they exclude catastrophes and the impact of reserve discounting which are outside of management's control. We also exclude prior year development to provide transparency related to current accident year results.

Underwriting ratios are computed net of reinsurance and as follows:

1. Loss ratio = Loss and loss adjustment expenses incurred ÷ Net premiums earned (NPE)
2. Acquisition ratio = Total acquisition expenses ÷ NPE
3. General operating expense ratio = General operating expenses ÷ NPE
4. Expense ratio = Acquisition ratio + General operating expense ratio
5. Combined ratio = Loss ratio + Expense ratio
6. CATs and reinstatement premiums ratio = [Loss and loss adjustment expenses incurred – (CATs)] ÷ [NPE +/-(-) Reinstatement premiums related to catastrophes] – Loss ratio
7. Accident year loss ratio, as adjusted (AYLR, ex-CAT) = [Loss and loss adjustment expenses incurred – CATs – PYD] ÷ [NPE +/-(-) Reinstatement premiums related to catastrophes +/-(-) Prior year premiums]
8. Accident year combined ratio, as adjusted (AYCR, ex-CAT) = AYLR ex-CAT + Expense ratio
9. Prior year development, net of prior year premiums ratio = [Loss and loss adjustment expenses incurred – CATs – PYD] ÷ [NPE +/-(-) Reinstatement premiums related to catastrophes +/-(-) Prior year premiums] – Loss ratio – CATs and reinstatement premiums ratio.

Results from discontinued operations are excluded from all of these measures.

###

American International Group, Inc. (NYSE: AIG) is a leading global insurance organization. AIG provides insurance solutions that help businesses and individuals in more than 200 countries and jurisdictions protect their assets and manage risks through AIG operations, licenses and authorizations as well as network partners.

AIG is the marketing name for the worldwide operations of American International Group, Inc. All products and services are written or provided by subsidiaries or affiliates of American International Group, Inc. Products or services may not be available in all countries and jurisdictions, and coverage is subject to underwriting requirements and actual policy language. Non-insurance products and services may be provided by independent third parties. Certain property casualty coverages may be provided by a surplus lines insurer. Surplus lines insurers do not generally participate in state guaranty funds, and insureds are therefore not protected by such funds.

American International Group, Inc.

Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation (\$ in millions, except per common share data)

Reconciliations of Adjusted Pre-tax and After-tax Income

Three Months Ended June 30,

	2025			2026		
	Pre-tax	Total Tax (Benefit) Charge	After Tax	Pre-tax	Total Tax (Benefits) Charge	After Tax
Pre-tax income/net income, including noncontrolling interests	\$ 1,544	\$ 400	\$ 1,144	\$ 1,264	\$ 316	\$ 948

Noncontrolling interests				—		—
Pre-tax income/Net income attributable to AIG common shareholders	1,544	400	1,144	1,264	316	948
Adjustments:						
Changes in uncertain tax positions and other tax adjustments		(2)	2		(7)	7
Deferred income tax valuation allowance (releases) charges		(11)	11		2	(2)
Changes in the fair values of equity securities, AIG's investment in Corebridge and gain/loss on sale of shares	(464)	(97)	(367)	(173)	(37)	(136)
Gain on extinguishment of debt	(5)	(1)	(4)	—	—	—
Net investment income on Fortitude Re funds withheld assets	(39)	(9)	(30)	(36)	(7)	(29)
Net realized losses on Fortitude Re funds withheld assets	52	11	41	6	1	5
Net realized gains on Fortitude Re funds withheld embedded derivative	14	3	11	51	11	40
Net realized losses ^(a)	191	33	158	208	38	170
Net (gain) loss on divestitures and other ^(b)	(50)	(10)	(40)	6	1	5
Non-operating litigation reserves and settlements	(2)	(1)	(1)	—	—	—
Unfavorable (favorable) prior year development and related amortization changes ceded under retroactive reinsurance agreements	53	11	42	(67)	(14)	(53)
Net loss reserve discount charge	12	3	9	28	6	22
Net results of businesses in run-off ^(c)	(2)	—	(2)	1	—	1
Non-operating pension expenses	5	1	4	(1)	—	(1)
Integration and transaction costs associated with acquiring or divesting businesses	1	—	1	41	9	32
Restructuring and other costs	78	16	62	71	15	56
Non-recurring costs related to regulatory or accounting changes	3	—	3	5	1	4
Adjusted pre-tax income/Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders	\$ 1,391	\$ 347	\$ 1,044	\$ 1,404	\$ 335	\$ 1,069

Reconciliations of Adjusted Pre-tax and After-tax Income

Six Months Ended June 30,

2025

2026

Pre-tax	Total Tax	After	Pre-tax	Total Tax	After
---------	-----------	-------	---------	-----------	-------

	(Benefits) Charge Tax			(Benefits) Charge Tax		
Pre-tax income/Net income, including noncontrolling interests	\$ 2,504	\$ 662	\$ 1,842	\$ 2,251	\$ 540	\$ 1,711
Noncontrolling interests			—			—
Pre-tax income/Net income attributable to AIG common shareholders	2,504	662	1,842	2,251	540	1,711
Adjustments:						
Changes in uncertain tax positions and other tax adjustments	4		(4)	86		(86)
Deferred income tax valuation allowance charges	(9)		9	(81)		81
Changes in the fair values of equity securities, AIG's investment in Corebridge and gain/loss on sale of shares	(681)	(143)	(538)	64	13	51
Gain on extinguishment of debt	(5)	(1)	(4)	—	—	—
Net investment income on Fortitude Re funds withheld assets	(79)	(17)	(62)	(59)	(12)	(47)
Net realized losses on Fortitude Re funds withheld assets	54	11	43	19	4	15
Net realized (gains) losses on Fortitude Re funds withheld embedded derivative	55	12	43	41	9	32
Net realized losses ^(a)	257	(5)	262	344	81	263
Net (gain) loss on divestitures and other ^(b)	(53)	(11)	(42)	133	28	105
Non-operating litigation reserves and settlements	(13)	(3)	(10)	—	—	—
Unfavorable (favorable) prior year development and related amortization changes ceded under retroactive reinsurance agreements	62	13	49	(75)	(16)	(59)
Net loss reserve discount (benefit) charge	29	6	23	(20)	(4)	(16)
Net results of businesses in run-off ^(c)	(7)	(1)	(6)	6	1	5
Non-operating pension expenses	10	2	8	(2)	—	(2)
Integration and transaction costs associated with acquiring or divesting businesses	6	1	5	48	10	38
Restructuring and other costs	154	32	122	147	31	116
Non-recurring costs related to regulatory or accounting changes	7	1	6	10	2	8
Adjusted pre-tax income/Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders	\$ 2,300	\$ 554	\$ 1,746	\$ 2,907	\$ 692	\$ 2,215

1. Includes all Net realized gains and losses except earned income (periodic settlements and changes in settlement accruals) on derivative instruments used for non-qualifying (economic) hedging or for asset replication and net realized gains and losses on Fortitude Re funds withheld assets.

2. In the six months ended June 30, 2026, Net loss on divestitures and other primarily relates to a change in estimate for earn-out considerations associated with the dispositions of Validus Reinsurance, Ltd. and global personal travel and assistance business.
3. In the third quarter of 2025, AIG began excluding the net results of run-off businesses previously reported in General Insurance from Adjusted pre-tax income.

Reconciliations of General Insurance Net Investment Income and Other and Adjusted Pre-tax Income

	Three Months Ended June 30,				Six Months Ended June 30,			
	2025		2026		2025		2026	
	Net Investment Income and Other	Pre-tax Income (Loss)	Net Investment Income and Other	Pre-tax Income (Loss)	Net Investment Income and Other	Pre-tax Income (Loss)	Net Investment Income and Other	Pre-tax Income (Loss)
Net investment income and other/Pre-tax income (loss)^(a)	\$ 872	\$ 1,137	\$ 942	\$ (522)	\$ 1,628	\$ 1,986	\$ 1,726	\$ 819
Other income (expense) - net	—	—	(1)	—	—	—	(3)	—
Changes in the fair values of equity securities, AIG's investment in Corebridge and gain/loss on sale of shares	(4)	(4)	(70)	(70)	(24)	(24)	12	12
Net investment income on Fortitude Re funds withheld assets	—	—	—	—	1	1	—	—
Net realized (gains) losses on Fortitude Re funds withheld assets	—	5	—	(1)	—	7	—	(1)
Net realized losses	3	270	—	2,067	2	323	—	2,223
Net (gain) loss on divestitures and other	—	(43)	—	14	—	(37)	—	11
Unfavorable (favorable) prior year development and related amortization changes ceded under retroactive reinsurance agreements	—	60	—	(57)	—	74	—	(52)
Net loss reserve discount (benefit) charge	—	12	—	28	—	29	—	(20)
Non-operating pension expenses	—	5	—	1	—	9	—	2
Integration and transaction costs associated with acquiring or divesting businesses	—	—	—	33	—	—	—	65
Restructuring and other costs	—	47	—	48	—	92	—	105
Non-recurring costs related to regulatory or accounting changes	—	3	—	5	—	7	—	10
Net investment income and other, APTI basis/Adjusted pre-tax income (loss)	\$ 871	\$ 1,492	\$ 871	\$ 1,546	\$ 1,607	\$ 2,467	\$ 1,735	\$ 3,174

Reconciliations of Other Operations Net Investment Income and Other and Adjusted Pre-tax Income

	Three Months Ended June 30,				Six Months Ended June 30,			
	2025		2026		2025		2026	
	Net Investment Income and Other	Pre-tax Income (Loss)	Net Investment Income and Other	Pre-tax Income (Loss)	Net Investment Income and Other	Pre-tax Income (Loss)	Net Investment Income and Other	Pre-tax Income (Loss)
Net investment income and other/Pre-tax income (loss)^(a)	\$ 600	\$ 407	\$ 186	\$ 1,786	\$ 960	\$ 518	\$ 115	\$ 1,432
Consolidation and Eliminations	4	—	(1)	—	3	—	—	—
Other income (expense) - net	(2)	—	2	—	(11)	—	3	—
Changes in the fair values of equity securities, AIG's investment in Corebridge and gain/loss on sale of shares	(460)	(460)	(103)	(103)	(657)	(657)	52	52
Gain on extinguishment of debt	—	(5)	—	—	—	(5)	—	—
Net investment income on Fortitude Re funds withheld assets	(39)	(39)	(36)	(36)	(80)	(80)	(59)	(59)
Net realized (gains) losses on Fortitude Re funds withheld assets	—	47	—	7	—	47	—	20
Net realized losses on Fortitude Re funds withheld embedded derivative	—	14	—	51	—	55	—	41
Net realized gains	(3)	(79)	—	(1,859)	—	(66)	—	(1,879)
Net (gain) loss on divestitures and other	—	(7)	—	(8)	—	(16)	—	122
Non-operating litigation reserves and settlements	—	(2)	—	—	—	(13)	—	—
Unfavorable (favorable) prior year development and related amortization changes ceded under retroactive reinsurance agreements	—	(7)	—	(10)	—	(12)	—	(23)
Net results of businesses in run-off	(8)	(2)	(9)	1	(13)	(7)	(18)	6
Non-operating pension expenses	—	—	—	(2)	—	1	—	(4)
Integration and transaction costs associated with acquiring or divesting businesses	—	1	—	8	—	6	—	(17)
Restructuring and other costs	—	31	—	23	—	62	—	42
Net investment income and other, APTI basis/Adjusted pre-tax income (loss)	\$ 92	\$ (101)	\$ 39	\$ (142)	\$ 202	\$ (167)	\$ 93	\$ (267)

1. In the first quarter of 2026, AIG realigned and began reporting Amortization of intangible assets in General Insurance from Other Operations; historical results have been recast to reflect these changes.

Summary of Key Financial Metrics

	Three Months Ended June 30,				Six Months Ended June 30,			
Earnings per common share:	2025	2026	% Inc. (Dec.)		2025	2026	% Inc. (Dec.)	
Basic	\$ 2.00	\$ 1.79	(10.5	) %	\$ 3.16	\$ 3.21	1.6	%
Diluted	\$ 1.98	\$ 1.78	(10.1	) %	\$ 3.13	\$ 3.18	1.6	%
Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders per diluted share	\$ 1.81	\$ 2.00	10.5	%	\$ 2.97	\$ 4.12	38.7	%

Weighted average shares outstanding:

Basic	572.8	529.5	583.3	533.8
Diluted	577.9	533.5	588.5	537.8

Reconciliation of Net Investment Income

	Three Months Ended	
	June 30,	
	2025	2026
Net Investment Income per Consolidated Statements of Operations	\$ 1,466	\$ 1,127
Changes in the fair values of equity securities, AIG's investment in Corebridge and gain/loss on sale of shares	(464)	(173)
Net investment income on Fortitude Re funds withheld assets	(39)	(36)
Net realized gains (losses) related to economic hedges and other	—	(1)
Net investment income of businesses in run-off	(8)	(9)
Total Net Investment Income - APTI Basis	\$ 955	\$ 908

Reconciliation of Total Debt to Total Capital

	Three Months Ended
	June 30, 2026
Total financial and hybrid debt	\$ 8,963
Total capital	\$ 49,589
Less non-redeemable noncontrolling interests	20
Less Investments AOCI	(1,362)

Total adjusted capital	\$ 50,931
------------------------	-----------

Hybrid - debt securities / Total capital	1.0	%
--	-----	---

Financial debt / Total capital	17.1
--------------------------------	------

Total debt / Total capital	18.1
----------------------------	------

Adjusted capital impact	(0.5	)
-------------------------	------	---

Total debt / Total adjusted capital	17.6	%
-------------------------------------	------	---

Reconciliation of Book Value per Share

As of period end:	June 30, 2025	March 31, 2026	June 30, 2026
-------------------	------------------	-------------------	------------------

Total AIG common shareholders' equity (a)	\$ 41,501	\$ 40,405	\$ 40,606
---	-----------	-----------	-----------

Less: Investments AOCI	(1,957)	(1,993)	(1,884)
------------------------	----------	----------	----------

Add: Cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re Funds withheld assets	(567)	(537)	(522)
---	--------	--------	--------

Subtotal Investments AOCI	(1,390)	(1,456)	(1,362)
---------------------------	----------	----------	----------

Total adjusted common shareholders' equity (b)	\$ 42,891	\$ 41,861	\$ 41,968
--	-----------	-----------	-----------

Total adjusted common shareholders' equity (b)	\$ 42,891	\$ 41,861	\$ 41,968
--	-----------	-----------	-----------

Total intangible assets	3,814	4,103	4,095
-------------------------	-------	-------	-------

AIG adjusted tangible common shareholders' equity (d)	\$ 39,077	\$ 37,758	\$ 37,873
---	-----------	-----------	-----------

Total AIG common shareholders' equity (a)	\$ 41,501	\$ 40,405	\$ 40,606
---	-----------	-----------	-----------

Less: AIG's ownership interest in Corebridge	4,043	607	—
--	-------	-----	---

Less: Investments related AOCI - AIG	(1,957)	(1,993)	(1,884)
--------------------------------------	----------	----------	----------

Add: Cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets - AIG	(567)	(537)	(522)
---	--------	--------	--------

Subtotal Investments AOCI - AIG	(1,390)	(1,456)	(1,362)
---------------------------------	----------	----------	----------

Less: Deferred tax assets	3,183	3,132	2,912
---------------------------	-------	-------	-------

AIG core operating shareholders' equity (e)	\$ 35,665	\$ 38,122	\$ 39,056
---	-----------	-----------	-----------

Total common shares outstanding (f)	559.8	532.9	524.7
--	-------	-------	--------------

As of period end:	June 30, 2025 % Inc. (Dec.)	March 31, 2026 % Inc. (Dec.)	June 30, 2026
--------------------------	-----------------------------	------------------------------	----------------------

Book value per share (a÷f)	\$ 74.14	4.4 %	\$ 75.82	2.1 %	\$ 77.39
Adjusted book value per share (b÷f)	76.62	4.4	78.55	1.8	79.98
Adjusted tangible book value per share (d÷f)	69.81	3.4	70.85	1.9	72.18
Core operating book value per share (e÷f)	63.71	16.8	71.54	4.0	74.43

Reconciliation of Return On Equity

	Three Months Ended	
	June 30,	
	2025	2026
Actual or annualized net income (loss) attributable to AIG common shareholders (a)	\$ 4,576	\$ 3,792
Actual or annualized adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders (b)	\$ 4,176	\$ 4,276

Average AIG adjusted common shareholders' equity

Average AIG Common Shareholders' equity (c)	\$ 41,466	\$ 40,506
Less: Average investments AOCI	(1,585)	(1,409)
Average adjusted common shareholders' equity (d)	\$ 43,051	\$ 41,915

Average AIG core operating shareholders' equity

Average AIG common shareholders' equity	\$ 41,466	\$ 40,506
Less: Average AIG's ownership interest in Corebridge	4,031	304
Less: Average investments AOCI - AIG	(1,585)	(1,409)
Less: Average deferred tax assets	3,277	3,022
Average AIG core operating shareholders' equity (f)	\$ 35,743	\$ 38,589

ROE (a÷c)	11.0	%	9.4	%
Adjusted return on equity (b÷d)	9.7	%	10.2	%

Core operating ROE (b÷f)	11.7	%	11.1	%
--------------------------	------	---	------	---

Reconciliation of Net Premiums Written - Change on Constant Dollar Basis

Three Months Ended June 30, 2026	General	
	Insurance	
Increase (decrease) as reported in U.S. dollars	9	%
Property lines	2	
Increase (decrease) on constant dollar basis, excluding Property lines	11	%

Reconciliations of Accident Year Loss and Accident Year Combined Ratios, as Adjusted

	Three Months Ended June 30,	
	2025	2026
North America Commercial		
Combined ratio	85.9	84.0
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(4.7)	(4.1)
Prior year development, net of prior year premiums	5.0	6.8
Accident year combined ratio, as adjusted	86.2	86.7
International Commercial		
Combined ratio	85.9	91.3
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(1.4)	(3.9)
Prior year development, net of prior year premiums	0.5	(0.1)
Accident year combined ratio, as adjusted	85.0	87.3
Global Personal		
Combined ratio	98.5	92.9
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(2.4)	(1.7)
Prior year development, net of prior year premiums	—	—

Accident year combined ratio, as adjusted	96.1	91.2
---	------	-------------

View source version on [businesswire.com](https://www.businesswire.com/news/home/20260806269644/en/): <https://www.businesswire.com/news/home/20260806269644/en/>

Quentin McMillan (Investors): quentin.mcmillan@aig.com

Andrew Johnson (Media): andrew.r.johnson@aig.com

Source: American International Group, Inc.